



きよせだいじゅうしょうがっこう

家庭数配付

# 学校だより

清瀬市立清瀬第十小学校

校長 田中 一郎

## 第7号

令和元年 11月1日

### 適時指導、率先垂範

校長 田中 一郎

この度の台風19号にて犠牲になられた方々に御冥福をお祈りするとともに、被災された皆様方に心よりお見舞い申し上げます。

先日の、清瀬教育の日学校公開及び十小まつりには3日間で延べ800人もの保護者や地域の皆様に御来校いただきました。こんなにも多くの方においでいただけますことに感謝申し上げます。今後とも教育活動への御理解・御協力を賜りますようお願いいたします。

さて、十小まつりですが、児童がとても楽しみにしている行事の一つです。2年生～6年生の各クラスの創意工夫が見られ、面白企画が満載です。企画・準備の段階からクラスの団結が不可欠であり、クラス全員が一生懸命取り組み、今年も大成功を収め、児童たちは達成感を味わうことができました。この調子で音楽会へ弾みをつけてほしいと思います。

11月を迎え、令和元年度の後半がスタートして2週間が経過しました。後半を迎えるにあたり、今年度の生活面の重点目標「挨拶をきちんとする」「時間を守る」に立ち返って見たところ、挨拶があまりできていないような状況が見受けられました。そこで10月28日の全校朝会で次のような話をしました。

最近、嬉しいことと、そうでないことがあります。嬉しいことは、みんなが時間を守って行動していることです。そうでないことはみんなの挨拶の声が小さいことです。校門や廊下ですれ違った時に大きな声で挨拶をしてくれる子が少ないです。あいさつは人と人とのつながりをスムーズにしてくれます。大きな声で元気なあいさつができれば、お互いとても気持ちよくなります。気持ち良い関係をつくるためにも、自分からすすんで大きな声であいさつができるといいですね。

そうしたところ、朝礼後に廊下ですれ違った児童から大きな声で「おはようございます！」と挨拶をされました。その後も廊下ですれ違う児童の挨拶の声が大きくなりました。下校時には「さようなら」、翌29日の朝も同様に多くの児童が大きな声で挨拶を返してくれたり、すすんで「おはようございます」と言ってくれたりするようになりました。きちんと話を聞き実行してくれていること、何より、すすんで大きな声で挨拶をしているのを見て、改めて十小の児童は素晴らしいと感じました。そして、これを持続させていくためにも指導の継続と大人の率先垂範が大切だと思いました。

以前も触れましたが、「挨拶をきちんとする」や「時間を守る」ことは、社会人としての基本です。そして日常の生活習慣で身に付くものです。学校では教員が、御家庭では保護者の皆様が、子供の良き手本となるよう努め、子供に指導すると同時に、しっかりと背中を見せられる大人であり続けましょう。